

2023年度 J-PVAD レジストリ Research Proposal 公募案件（採択）

#	研究タイトル	申請者名 (敬称略)	所属
1	Obesity and Outcomes in Cardiogenic Shock Patients Treated with Impella: Insights from J-PVAD Registry	片桐 勇貴	札幌東徳洲会病院 循環器内科
2	ECPELLAを必要とした心原性ショック合併AMI患者における予後予測モデルの開発	新井 陸	日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科
3	バイオマーカーに着目したImpellaに関連する死亡・合併症リスクの層別化	齋藤 佑一	千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学
4	Impella機種別の臨床成績に関する検討	池田 祐毅	北里大学医学部 循環器内科
5	80代の心原性ショック患者における補助循環用ポンプカテーテルの成績：非80代との比較および不良予後の予測因子	樋口 亮介	榊原記念病院 循環器内科
6	ImpellaデバイスタイプとAMI-CSの予後との関連	中村 牧子	富山大学 第二内科
7	Impella使用中に溶血を合併した患者の特徴、因子および予後への影響	野口 将彦	東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科
8	大動脈内バルーンパンピング(IABP)からIMPELLAへescalationした心原性ショック症例の実態および短期予後に関する検討	横井 雅史	名古屋市立大学大学院医学研究科 循環器内科学
9	腎機能障害を呈する心原性ショック患者にIMPELLAは有効か：導入時血行動態による効果の異質性の検証	野本美智留	埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科
10	心原性ショック合併急性冠症候群の非心肺停止症例におけるIMPELLA単独症例とECPELLA症例の短期生存率の比較検討	鍵山 弘太郎	上尾中央総合病院 循環器内科
11	Impellaを導入した重症急性心筋梗塞患者に発生する持続性心室頻拍、心室細動の特徴、予測因子、および予後に与える影響の解析	花田 賢二	弘前大学大学院医学系研究科 循環器腎臓内科学講座
12	Acute MRIに対するImpellaによるperioperative optimizationの有用性の検討	藤井 政彦	船橋市立医療センター 心臓血管外科
13	2本以上のImpellaを要した症例およびVAD (Ventricular Assist Device) へ移行した症例の予後予測因子の検討	間淵 圭/田邊 康宏	聖マリアンナ医科大学大学院医学系研究科 循環器内科
14	PVADの使用期間が予後や有害事象、製品不具合に与える影響の検討	加藤 駿一	さいたま赤十字病院 循環器内科/高度救命救急センター
15	急性冠症候群に対するImpellaの臨床成績の検討 —ST上昇型心筋梗塞、非ST上昇型心筋梗塞、不安定狭心症の影響—	松下 俊輔	倉敷中央病院 循環器内科
16	劇症型心筋炎に対するCardiac Support DeviceとしてのImpella 5.0/5.5の心機能回復効果の検討	河村 拓史	大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座心臓血管外科
17	Non-ACS症例における door to unloading time と予後との検討	寺内 泰親	筑波大学医学医療系 循環器内科
18	心原性ショック患者におけるIMPELLA導入前アルブミン値と予後の関連性の評価	三好 徹	愛媛大学大学院医学系研究科 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学
19	心原性ショック合併急性心筋梗塞において維持透析が与える予後への影響	池岡 邦泰	国立病院機構大阪医療センター 循環器内科
20	慢性心不全急性増悪と急性心筋梗塞に対するImpellaの有用性の違い	服部 英敏	東京女子医科大学病院 循環器内科
21	年齢別に異なるとされるImpella使用が予後に与える因子の影響	白壁 章宏	日本医科大学千葉北総病院 集中治療室